

「順天堂大学スポーツ健康科学研究」投稿規程

(投稿者の資格)

- 1: 投稿者は順天堂大学教職員（非常勤講師を含む）、同大学院博士課程学生および編集委員会で認めたとする。

(発行)

- 2: 紀要は原則として年1回発行する。

(投稿原稿の区分・条件)

- 3: 投稿原稿は原著論文 (original)、総説 (review)、報告 (report)、資料 (material) 等に区別する。

「原著論文」とは、科学論文としての内容と体裁を整えているもので、未発表の資料に基づき新たに科学的な知見をもたらすものであることが必要である。

「総説」とは、特定の研究領域に関する主要な論文の総覧で、単なる羅列ではなく、特定の視点に基づく体系的なまとまりであることを要する。

「報告」とは、スポーツ健康科学研究科修士論文要約・博士論文要約、学内共同研究概要、調査報告、評論などとする。

「資料」は書評、研究集会などの内容報告、累加測定、学内研究採択一覧などとする。なお、「研究活動報告」は上記とは別に扱う。

他紙に発表された原稿は掲載しない。

なお、編集委員会が必要と認めた場合には、特集、展望、解説などの項目を設け、原稿を掲載する場合がある。

投稿原稿は、「順天堂大学スポーツ健康科学部研究等倫理要綱」、「順天堂さくらキャンパスにおける教育・研究のための動物実験に関する指針」、「順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科研究等倫理要綱」に抵触してはならない。また、個人ならびに特定の団体のプライバシーその他の権利を侵害するものであってはならない。(例えば、症例提示における、イニシャル、病歴番号、その他特定される可能性ある表記など)。

(投稿の編数)

- 4: 原著論文、総説について、投稿編数は原則として1名につき2編までとする。

(原稿の字数制限)

- 5: 原著論文は原則として、18,000字（刷上り10頁）以内とする。総説は18,000字（同10頁）以内とし、報告および資料は原則として7,200字（同4頁）以内とする。図、表、写真等（刷上りは白黒とする）を挿入する場合はこれを字数に換算し、制限内に納めるものとする。字数を超過した場合、あるいは特殊な印刷を要した場合は、その実費を投稿者が負担する。なお、刷り上がりの1頁の文字数は1,800字とする。

研究活動報告などは1件につき、300字（英文では300語）以内とする。

(書式)

- 6: 邦文原稿は、流通しているアプリケーション対応のワードプロセッサを用いて、A4判紙（上質紙）に横書きで作成する。字数はA4判紙1枚につき1,000字程度とする。当用漢字、新かなづかいを原則とする。句読点、括弧は1字に相当するように全角で入力する。

欧文原稿は、流通しているアプリケーション対応のワードプロセッサを用いて、A4判紙（上質紙）の

片面のみに、最低でも25 mm (1 インチ) のマージンを取って、作成する。個々に独立した表、および図の説明文を含め、終始ダブルスペースを用いる。

なお、邦文原稿、欧文原稿とも、単位は原則として、国際単位系 SI による。ゴシック、イタリックなどを使用する場合には、文書内にてフォント指定をする。頁番号は各用紙の下部の中央に打つ。

(論文の構成)

- 7: 原著論文、資料などの本文の構成は原則として、邦文の場合は、1. 「緒言 (研究目的を含む)」, あるいは、「初めに」, 2. 「方法 (研究対象または材料を別項にしてもよい)」, 3. 「結果」, 4. 「考察」, 5. 「結論」, 6. 「文献」, 7. 「図・表説明文」とする。欧文の場合は、1. Introduction, 2. Materials and Methods, 3. Results, 4. Discussion, 5. Conclusion, 6. References, 7. Legends の順とする。本文の項目分けは 1. 2. 3 などのアラビア数字で行い、細項目は 2.1., 2.1.1. などのようにする。

(タイトルページの書式)

- 8: 原稿の表紙に当たるタイトル頁には、横書きで、①原稿の種類 (原著論文、報告など)、②タイトル (邦文名および欧文名)、③図、表、写真の枚数、原稿字数、④執筆者名 (邦文名およびローマ字表記)、⑤執筆者資格 (所属・職名)、⑥執筆者所属 (邦文名および英文名)、⑦連絡先 (郵便番号、住所、電話番号、携帯電話番号、facsimile 番号、e-mail アドレス) を記載する。なお、共同研究者がいる場合は④-⑦を同様に記す。また、タイトルページの頁番号は 0 とする。

(抄録)

- 9: 原著論文および総説の第 1 頁には原稿の種類から、タイトル (邦文名及び欧文名)、300語以内の英文抄録 (Abstract)、3-5 語のキーワードまでを載せる。原則として、原著論文、総説以外には英文抄録は不要である。抄録 (Abstract) は目的・方法・結果・結論の構成となる。

(挿図原稿)

- 10: 挿図原稿の、図・表の文字や数字および写真は、そのまま写真製版に耐えられるように鮮明で光沢のある白黒のプリントで作成する。

図は手で書いたり、タイプライターで文字を入れたものは原則として受理しない。オリジナルの製図、X線フィルム、その他の資料の大きさは、203×254 mm (8×10インチ) を超えてはならない。出版のために縮小されても、それぞれの項目が読みやすいように、文字、数字、そして記号は明瞭にし、すべて十分な大きさにする。

図・表には、それぞれ別に通し番号をつける。図を折り曲げたり、厚紙で裏打ちしないこと。図・表は、本文とは別に、それぞれ番号順に一括する。

図・表の題名と説明文は図一覧表、表一覧表の形式にして、本文とは別葉とし、それぞれ記載する。題名と説明文は英文であることが望ましい。題名は図下、表上に入る。本文原稿の欄外に、図・表の挿入箇所を朱書する。

人物の写真を使う場合は身元が絶対に判明しないようにするか、掲載許可を得る必要がある。既に図が発行されている場合には、オリジナルの出所に謝意を表す、または、資料を再度用いることに関して著作権者からの掲載許可を得た旨記載する。

(謝辞などの位置)

- 11: 謝辞などは、本文の末尾、文献の前に入れる。

(注記の原則禁止とその位置)

12: 本文中の注記は原則として認めない。やむを得ず必要な場合は本文中に註番号を付記し、本文の後、謝辞の前に置く。

(文献)

13: 文献は本文中に用いられたもののみを取める。本文中には、引用箇所の右肩に文献番号及び左向き括弧をつけて、¹⁾のように表す。

文献は、下記の要領に従って作成し、最後に邦文及び欧文のものをあわせて著者のアルファベット順にならべ、番号(文献番号となる)を付ける。文献は本文とは別葉とする。

著者数は最初の6名までの著者名を列挙し、その他は「ほか」、「et al.」で続ける。

(1) 雑誌論文の場合 (For articles in periodicals)

文献番号、著者名(西暦発行年)表題、雑誌名(イタリック)巻数または号数、始頁-終頁。(通巻頁数をつけている場合は、月と号数は省略してよい)

- 1) 勝又 宏, 川合武司 (1989) 地面反力から見た異なる投球速度に対する野球の打撃動作の特性. *体育学研究* 40, 381-398.
- 2) Sudo, M. M. and Kiritani, S. (1991) Production and perception of stress-related durational patterns in Japanese learners of English. *Journal of Phonetics* 19, 231-248.

(2) 単行図書の場合 (For a book by one or more authors)

文献番号 著者名(西暦発行年)書名(イタリック). 版数, 発行都市, 発行所, 始頁-終頁。(全体として引用する場合には頁数を明記しなくてもよい)

- 1) 青木純一郎 (1999) サイクリング・エクササイズ. 東京, 大泉書店, 88-95.
- 2) Knowles, G. (1985) *Rhythm of English Syllables*. London: Academic Press.

(3) 叢書の1巻や編書の場合 (For articles in a book containing a collection of articles)

文献番号 著者名(西暦発行年)表題、書名(イタリック)(編者名), 巻数, 発行都市, 発行所, 始頁-終頁.

- 1) 山下文治 (1994) 走る科学. 小林寛道編, スポーツ科学ライブラリー, 第3巻, 第2版, 博多, 大修館書店, 230-236.
- 2) Pinson, D. B., Lively, S. E. and Longman, J. S. (1994) Perceptual learning of nonnative speech contrasts: Implications for theories of speech perception. In *The Development of Speech Perception: The Transition from Speech Sounds to Spoken Words* (J.C. Goodman and H.C. Nusbaum, eds.), Mass.: MIT Press, 351-362

(4) ここに記載されていない文献の記載は別記として扱う(参考書を指示するなら、バンクバースタイルに変更が必要)。

(投稿)

14: 投稿原稿はオリジナル原稿とその鮮明なコピー2部(図表はオリジナルと同様の鮮明度を持つもの)の計3部とし、フロッピーディスクの表に、著者名、ファイル名、ファイルの形式、使用したハードウェアとソフトウェアに関する情報を記載したラベルを貼付する。

(提出)

15: 原稿は、以上に定める形式に合致していることを確認の後、下記宛に送付する。

〒270-1695 千葉県印旛郡印旛村平賀学園台 1-1

順天堂大学スポーツ健康科学部

「順天堂大学スポーツ健康科学研究」編集委員会 委員長

(原稿無返却)

16: 提出された原稿は原則として返却しない。

(査読)

17: 提出された原稿は原著論文その他に区分され、原著論文は2名、総説、報告、資料等の原稿は1名の審査員による査読を受ける。査読者は学内・外から選出される。

査読結果は著者に通知される。

投稿者は、査読意見を十分に検討し、「総合的な意見」、「具体的な意見」の何れにも回答することが求められる。「具体的な意見」に対しては、個別意見に対する回答、修正、訂正を、修正、訂正部位を含む一覧表として、分かり易く書くことが求められる。査読意見に対する投稿者の疑義その他は文書にて編集委員長宛に申し出ることができる。文書の内容については編集委員会で審議する。

(再提出)

18: 再提出される原稿(再々提出(第2稿)以降の原稿を含む)はオリジナル原稿(再々提出原稿については第2稿)に赤字で訂正を入れた原稿を3部、査読意見に対する回答書3部、及び修正原稿(コピーを含め)3部並びにフロッピーディスクを提出する。

(校正)

19: 校正は著者が行うものとし、1校のみとする。校正は、原則として誤字、脱字の有無のチェックにとどめるものとする。著しい訂正をした場合には、新規原稿の扱いとなる。

(別刷り)

20: 別刷りは30部を無料とし、それを超える分は本人負担とする。希望者は校正時に(50部単位で)必要部数を申し出る。

(著作権)

21: 本誌に掲載された論文等の著作権は、順天堂大学スポーツ健康科学研究編集委員会に帰属する。

(2003年9月19日一部修正)